

分野別分科会開催概要

開催日：平成 27 年 4 月 25 日（土）

会 場：日本歯科大学

分野名：組織発生学

テーマ：口腔組織の発生生物学から再生への展開

講師：

1. 基調講演

「歯はこうしてつくられるーエナメル質研究者の視点からー」

高野吉郎（東京医科歯科大学）

2. iPS 細胞を用いた歯、歯周組織再生の試みと新たな展開

大津圭史（岩手医科大学）

3. 口腔組織再生に導く細胞ソースの獲得

～初代培養からの選択的細胞分離の実際～

中原 貴（日本歯科大学）

座長：中原 貴（日本歯科大学）、大島勇人（新潟大学）

講演内容：

趣旨：口腔組織の再生への取り組み、すなわち先天性または外傷や疾病で歯を失った人の顎に歯を再生させたり、歯の喪失や疾病により失った顎骨や歯槽骨を再生させたり、機能低下した唾液腺や味蕾細胞を再生させたりする試みは、口腔機能の回復にも繋がることか

ら QOL を高める将来の治療として期待がもたれている。現在、iPS 細胞や組織幹細胞を用いた口腔組織の再生研究が活発に行われている一方、多くの研究者は口腔組織の発生生物学の理解が口腔組織再生への有効な方略であることにも気付いている。組織発生学分科会では、口腔組織の発生生物学研究の一例として、生体の中でもっともダイナミックな一生を送るエナメル芽細胞により時間をかけて造られる高度に石灰化したエナメル質の形成機構研究と共に、最新の口腔組織再生の取り組みを紹介し、若手研究者に口腔組織発生学研究の面白さを堪能して頂くと共に、将来の口腔組織再生への展望を議論したい。